

静岡県観光振興条例（H26.10制定）第11条に基づく基本計画

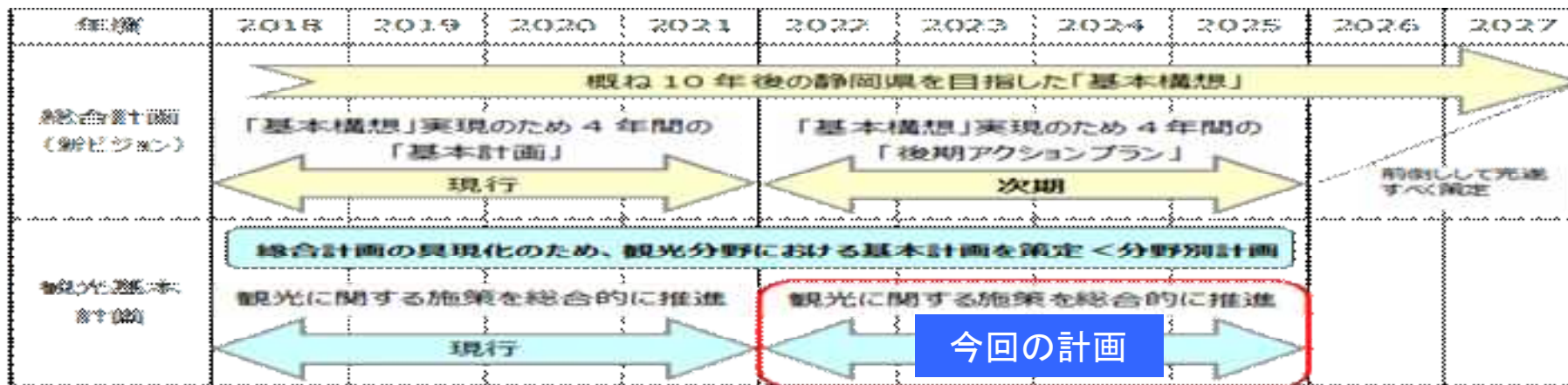
第11条 知事は、観光の振興に関する施策を戦略的かつ積極的に推進するため、（中略）、観光の振興に関する基本的な計画を定めるものとする。

静岡県総合計画の分野別計画

- ・ 現行計画は、**総合計画の分野別計画**として策定
- ・ 観光は、8つの重点政策うち「**世界の人々との交流の拡大**」に位置づけ



<計画期間の考え方>



取組の方向

これまで勘と経験に頼っていた観光を、マネジメントとマーケティングに基づいて実践するため、DMOなどが中心となり効果的な誘客ができる観光地域づくり、仕組みづくりに取り組む

基本理念

「住んでよし」と「訪れてよし」の好循環を生む観光地域づくりによる「心の豊かさ」と「経済的豊かさ」の実現

基本方針

1 国際競争力の高い観光地域づくり

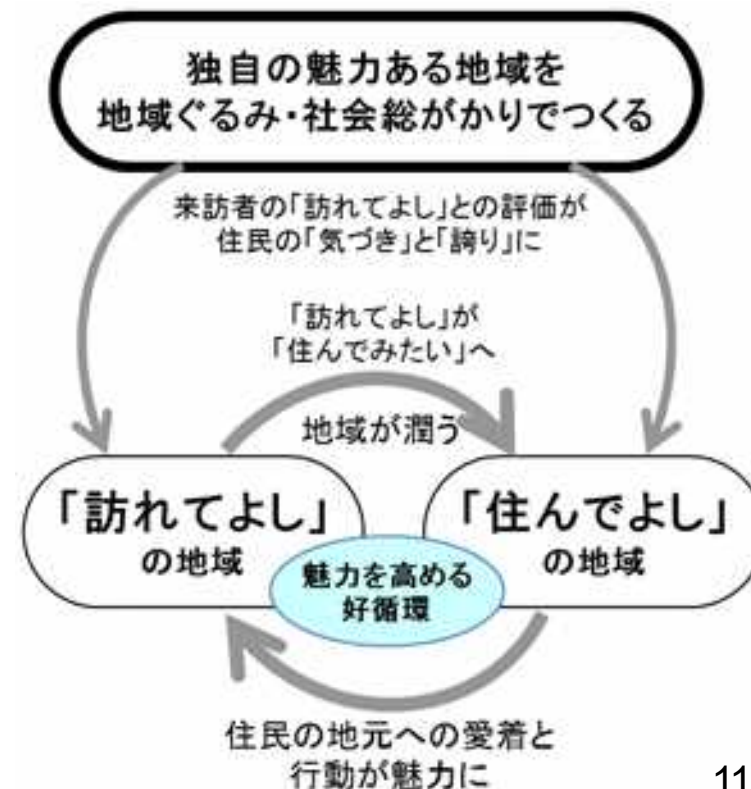
共創による社会総がかりの観光地域づくりを推進することで、地域住民と旅行者との双方の満足度を高め、世界から憧れを呼ぶ観光地域を目指す

2 観光客の来訪の促進

マーケットインの考え方にに基づき、本県ならではの高品質な体験や価値を提供することにより、国内外から観光客の来訪の促進や滞在期間の長期化等を目指す

3 観光人材の育成と来訪者の受入環境の整備

観光地域づくりを担う即戦力となる人材と将来を担う人材の育成を図るとともに、安全安心で快適な受入環境の整備により、世界レベルの観光地域に向けた持続的な発展を目指す。



現行計画の進捗状況① ～成果目標～

区分	目標指標	単位	2016 (基準値)	2018	2019	2020	目標	ｺﾛﾅ	評価
心の豊かさの実現	本県の旅行に大変満足した旅行者の割合	%	34.9	34.2 (C)	37.4 (C)	41.5 (C)	50.0		C 進捗は遅れているが、増加基調で推移している。観光客が地域の魅力を十分堪能できるように取り組む。
	地域への誇り、愛着を持つ県民の割合	%	81.4	83.5 (C)	81.9 (C)	86.6 (B)	90.0		B 増加基調で推移している。地域資源を活用し、一層の魅力向上を図っていく
経済的な豊かさの実現	県内旅行消費額	億円	6,888	7,350 (A)	7,057 (C)	4,336 (C)	7,500	※	C 2019年12月までは増加基調で推移するもコロナの影響で目標達成が困難である。
	観光交流客数	万人	15,294	15,342 (C)	14,716 (C)	8,348 (C)	17,000	※	C 2019年12月までは増加基調で推移するもコロナの影響で目標達成が困難である。
	宿泊客数	万人泊	1,943	1,997 (C)	1,960 (C)	1,083 (C)	2,200	※	C 2019年12月までは増加基調で推移するもコロナの影響で目標達成が困難である。
	外国人宿泊者数	万人泊	157	179 (C)	249 (B)	27 (C)	300	※	C 2019年12月までは増加基調で推移するもコロナの影響で目標達成が困難である。
	県内産食材の調達率が5割以上の宿泊施設の割合	%	42.8	44.7 (C)	46.9 (B)	49.2 (B)	50.0		B 着実に増加しており、目標達成が見込まれる。地域内消費の啓発等により、一層の促進を図っていく。

<評価> 目標値以上：2020年の進捗状況が目標以上のもの
 A：2020年の進捗状況が「期待値」の推移の+30%超～目標未満のもの
 B：2020年の達成状況が「期待値」の推移の±30%の範囲のもの
 C：2020年の達成状況が「期待値」の推移の-30%未満のもの
 2021年度末に目標を達成するものとして、基準値から目標に向けて各年平均推移を「期待値」とする。

<コロナ> 新型コロナウイルス感染症の直接の影響があった指標は ※

現行計画の進捗状況② ～活動指標～

目標指標	単位	2016 (基準値)	2018	2019	2020	目標	ｺﾏ	評価
DMOを核とした観光地域づくりを推進する市町数	市町	0	22 (A)	22 (B)	22 (B)	35		B 目標達成に向けて伸び悩んでいる。実態としては、県観光協会が県全域のDMOの役割を担っている。
旅行中のレジャー活動に占める体験型観光の割合	%	34.9	31.1 (C)	34.4 (C)	33.8 (C)	40.0		C 進捗は遅れている。需要が高まっているアウトドアツーリズムなど、体験型観光による誘客を促進していく必要がある。
農林漁家民宿宿泊数	人	1,180	3,071 (目標以上)	4,363 (目標以上)	1,842 (C)	3,000	※	C 2019年度までは目標を達成していたものの、コロナの影響で目標達成が困難になる。
伊豆半島ジオパークのジオツアー参加者数	人	7,571	36,568 (目標以上)	35,621 (目標以上)	11,070 (目標以上)	10,000	※	目標以上 目標を達成しているものの、コロナの影響で参加者数が減少している。
県の支援により造成された宿泊旅行商品数	商品	3,181	3,459 (A)	7,200 (目標以上)	2,629 (C)	3,500	※	C 2019年度に目標を達成したものの、コロナの影響で目標達成が困難になる。
静岡県観光情報ホームページ「ハローナビすおか」訪問数	万PV	297	325 (C)	345 (C)	401 (C)	670		C 進捗は遅れている。旅行者の嗜好に合わせた情報発信を行い、より一層の訪問者数の増加を図っていく。
静岡ツーリズムビューローが取り扱う旅行商品成約額	万円	0	3,169 (C)	3,192 (C)	19 (C)	16,000	※	C 2019年度までも期待値まで届いていないが、コロナの影響で目標達成が困難になる。
「ぜひもう一度訪れたい」旅行者の割合	%	59.9	62.2 (C)	63.5 (C)	63.3 (C)	70.0		C 進捗は遅れているが、増加基調で推移している。観光資源の磨き上げや情報発信を行い、観光客が地域の魅力を十分堪能できるよう取り組んでいく。
観光人材育成研修会参加者数	累計人	5,885	8,377 (A)	9,596 (A)	10,618 (目標以上)	10,000		目標以上 目標を達成している。今後とも各地域の人材育成に取り組んでいく。
地域の魅力を紹介できる人の割合	%	79.6	79.6 (C)	72.3 (C)	75.2 (C)	90.0		C 進捗は遅れている。今後、地域資源を活用し、一層の魅力向上を図ることで、目標達成を目指していく。
ユニバーサルツーリズムに関する研修会参加者数	累計人	0	99 (B)	165 (B)	165 (C)	400	※	C やや進捗が遅れており、2020年度はコロナの影響で研修会が実施できなかった。
観光地域づくり整備計画策定数	累計計画	0	17 (B)	24 (B)	33 (B)	50		B やや進捗が遅れている。説明会等で制度の浸透を図り、目標達成を目指していく。

地域連携DMO（伊豆地域2、中部地域1、西部地域1）、インバウンド向けDMOである静岡ツーリズムビューロー（TSJ）の設立といった5つのDMOによる観光地域づくりの推進

ラグビーワールドカップ2019、静岡デスティネーションキャンペーンなどの機会を通じた様々な分野の事業者等との共創による旅行商品づくり

デジタルマーケティングの推進のため、2020年に観光デジタル情報プラットフォームを構築

2020年に「ツーリズム研究センター」を開所した静岡県立大学、2019年に「文明観光学コース」を新設した静岡文化芸術大学等と協働した、観光産業の中核人材等の育成

市町の中長期的な計画に基づく観光地域づくりに向けた整備を支援するため、これまでの施設単体への整備補助から「観光地域づくり整備計画」に位置づけられた事業に助成

高い専門性を必要とする学術調査や地質遺産の価値を伝えるジオガイドの養成、ジオツーリズムを通じた教育・普及活動を行う、伊豆半島ジオパーク推進協議会を支援
(2018年4月ユネスコ世界ジオパークに認定)



様々な分野の事業者等との共創による、
デスティネーションマーケティングの体制が整ってきた